



TOKYO PRACTICE

For ADULT only

Presented by NikuRingo (Beef&Apple) 2008/08/17 In Summer of Comiket

成人向
同人誌

☆TOKIO PRACTICE☆

FOR EXCITE-ING ADULT ONLY

PRESENTED BY NIKURINGO (BEEF&APPLE)

2008/08/17 IN SUMMER OF COMIKET

☆はじめに☆

どもども兄弟です。

さて今回のオフセット本

「東京PRACTICE」

ですが、前回オフセット「東京夢のオーケストラ」同様、
タイトルの枕に「東京～」という枕が付いていて、兄が
メインで仕切った本となっています。

んでタイトル後半の「PRACTICE(プラクティス)」
は「練習」といった意味合いでつけていて、まあ毎回
モノ作りに悩んじゃってるんで、いっちょ習作のつもりで
試験的にやってみるか、てな感じで企画してみました。

本編は「Nippon女Heroine」シリーズの後半、イラスト&
テキスト部分のスタイルを基本に、イラスト差分を使った
CD集的な、変化進展を紙面で試してみました。
思ったからーやってみよう、てな感じで。

で、今回のジャンルは「絶対可憐チルドレン」です。
基本設定が萌えモノっぽかったんで、兄的にちよいと避け
てた部分があったんですが、視聴したら、かなりツボに入
ったモノで☆

ま、何にせよサクッと気楽に読んで、またひとつ違った形
の兄弟テイストを楽しんでいただければナ～と思います。

ほんじゃまたあとがきで☆

カクガリ兄弟

2008/08/17

(今年はアニメにしろ特撮にしろ、大手以外で想わぬ伏兵
が現れる年だなあ～と感じてマス)

超能力支援研究局「BABEL(バベル)」

その局長室の奥には、局長と数名のエスパーのみが入室を許された「極秘資料室」があった。

その局長専用のノートパソコンには…

『あんっおっちゃんのっ・おっきいの入ってくるうっ！ はあっつ☆』

『あっ局長っ…そんな汚いコ…舐めちゃダメですっ…ああんっ♪』

(あかんで…薫も紫穂もこないイヤらしいコトして…こないイヤらしい声あげて…)

「コラコラ葵くん、他人の極秘記録を勝手に覗き見ちゃダメじゃないか…」



「きよ、局長はん！？」

「しかも、机の角に股間をこすり付けてオナニーとは… 優等生だと思っていたら、とんだ悪い子だな、キミは」

「ちがうんや、ウチちょっとだけ、他の皆がどないなコトして… 局長はんには可愛がられてるのが知りたくて、つい…」

「友達のはメ撮り記録見たら… つい興奮して、机の角でオナニーをはじめてしまった訳かい？」

「そ、それは……」

「良いヨ、キミ達特務エスパーの欲求不満が溜まっては、力が暴走しかねない…
こういうガス抜きは必要だからねえ。今日は特別に… 他の二人の記録を見せてあげよう☆」

「ええっ！？」

『どれどれ… 最初の動画は薫クンのだね』

「んっ…ああんっ♪」

「ほーら入った、最初はゆっくりゆっくり出し入れしてっど…」

「あっ…おっちゃんっ…じらすなよお…あ…あんっ♪」

「ん～ 相変わらず薫クンのオマンコはキッツキツだねエ…ほら、ちっちゃなオマンコがこんなに開いちゃって…

ぶっといチンポが出入りしてるの…見える？」

「んっ見えるうっ！ ぶっといチンポっ…出入りしてるうっ！ あっあっああんっ♪」

「ふふ… じゃあ大好きな乳首もイジメてあげようねエ…ほら好きだろ？ こーやって、オッパイの先っぽクリクリくりくりされるの…」

「うんっ…きもちいいっ…ちくびっ…ツンツンってっ…ハアハア…たってきたあ♪ でもっ…こんなので本当にっオッパイ大きくなるのお？ …はんっ♪」

「そーだよ、こうやって刺激すれば、きっと薫クンの憧れる巨乳ちゃんになれるからね…」

「ああんっ！ あっ…ダメっ…チクビっ…そんなに激しくツネったらっ…あたまっ…おかしくなるうっっ！」

「ふふっ、チクビ弄られて興奮したのかな？ 腰が段々動いてきたネ…自分から腰振って…オマンコぐりぐり押し付けて来て…」

「だって…今日はおっちゃんっ…ゆっくりしか…してくれないからあ…はあっ☆」

「ふふっ…この間まで処女だったのに、すっかりイヤらしい身体になって…激しく動いて欲しいの？ オマンコ、イキたい？」

「イキっ…イキたいですっ！ おまんこイキたいのおっ…はあはあ…ねっ、おねがぁい…いつもみたいに もっとお… はやくうっ♪」

「ダメw 今日のもっとイヤらしくなるために、もっと自分で動いてごらん？ 私は動かないから…」

「あーっ…ダメっ…やめちゃっ…やあだあっ！」

「ほら薫クンが大人のオンナになる為なんだから…皆本クンだって、キミがスケベなテクニック身に付けたら将来喜ぶぞ☆ ほら、はやくはやく…」

「ホントに…っ…あんっ♪ こっ…こんなカンジでっ…いいのかな…あんっ♪」

「そーうそう、やれば出来るじゃないか…ほらもっと激しくっ！ 大好きな乳首、もっとコスってあげるから…ホラッ！！」

「はっはっダメっ…おっぱいスゴいっ！ チクビすごっ…ああーっ！」

「おおっ、オマンコキュって締まったぞっ！ 腰振りも速くなってきたね…ほら、もっと上下に激しくっ！ もっともっどっ！！」

「ふああっ…いいっ…コレ良いっ…自分で動くのお…すごく良いっ！ ココっ！ この角度がっ！ すごいっ！！」

「ふふ…自分で動くのも良いだろう？ 自分の一番気持ちイイ場所に擦れて…」

「うんっ…すごいっ…コレすごいっ！ いつもよりはやくっ…イっちゃううっ♪」

「普段は男勝りな薫クンが、すっかり牝(メス)の鳴き声をあげて…こんな姿、

他の2人が見たらビックリするだろうねえw」

『あ…イヤあ…ダメえっ…こんなのお…んっ♪ ぜったいっ…あんあんっ♪』

見られたくないのおっ！ ハアハア…見せたらダメえっ！

ハアハア…ああんっ♪』

「こんなヤらしい声…ウソやろ…」

「あ～あ、絶対見られたくないって言ってるのに、可哀想にw」

「そんな…薫…」

『あっ…だめっ…もうっ…イクっ！！』



「うんっ…良しっ…こっちもイクぞっ！ 薫クンの子供マンコにっ…あっついザーメン

出すからなっ！ ホラ！ 出すぞっ出るっっ！」

「あっ…あっ…イクっ！ おなか来たっ！ びゅびゅって熱いのっ！ あっっういっキタのっ！

イクイクイクイクっ！ いっ…くううううううっ！！」



ヒッ
ジュッ
ヒッ
ジュッ

ジュッ

ヒッ
ジュッ

ズッ

ギョッ

ギョッ

ズッ

『ん？ 葵くん何を俯いているのかな？ ほら、次は紫穂くんの動画だよ？』

「ふふ…グイグイと腰を突き出して……紫穂くんは本当にスケベだね」

「はあッ・局長…そんな事言っちゃ…ダメ…ああッ」

「どうせ口で言わなくたって、紫穂くんは特別にECM(超能力対抗装置)の首輪を着けてないんだから…私の思考なんて幾らでも読めるだろう？」

「ああッはいッ・局長の思考…イヤらしいコト考えてるの…全部頭に入ってきますッ！」

(やれやれ、普段はキレイ好きのクセに、性器のニオイは相当キツイなw ん〜ロリマン掘る度に、くっさいマンコ臭がブンブン匂ってくるわい)

「あはッ！アッ・いやだッ・そんなッ・嗅いだらッ・ダメスッ」

(ハハッ・鼻から甘い喘ぎ声あげおって…大人しそうなカオして交尾の感度は3人中一番じゃないか…この淫乱娘ッ！)

「ああッ…イヤあ…」

(ほらこっち向いて！ 顔見せろッ！ キレイな顔が快楽で台無しだぞ、このスケベッ！)

「いやだッ・あッちっがうう…あんッ」

(違わないんだよ！ 大口開いて、トロ〜とした目ェしやがってッ！ 中年のチンポでマンコほじられて、堪らないって顔、もっとホジってエって媚びた顔してんじゃねーかッ！！)

「そんなことッ・ないですッ…はひッひッ・あん♪ああんッ」

グッチュ・ヌッチュ・クッチュ・ブチュッ

(なら何でマンコ濡れてんだオイ！？ 身体中濡しそうにブルブル痙攣させやがってッ！ クサマンから、真っ白なくっさいホンキ汁垂らして… 上も下もヨダレの大洪水じゃねーかッ！！)

グッチュ・ヌッチュ・ブッ！ クッチュ・ヌッチュ・ブウッ！！

(ハハッ！ 腹ナラか！？ 感じすぎてマン尻こいちまってるじゃねーかw

ほらバックが好きなんだろ？ 動物みたいに後ろから犯されるのが大好きなんだもんなあ！？)

「ちがッ・こんなカッコッ・イヤあ・もっとオ・もっとフツーのカッコでしてエ…アッ♪おねッ・がぁいッ・あんッ」

(口ではウソついたって、スケベな紫穂の身体が、バック好き、なじられるのが大好きって言ってるぞ！

ケツ穴ヒクヒクさせながら悦びやがって…このドMマンコッ！！)

「やめてッ・もうッ・首輪つけてエッ！ おまんことアタマのなかッ・両方犯されてッ・おかしくなっちゃうらうッ」

(ん〜またマンコ締まったッ・紫穂は本当に言葉責めが好きだなア… 紫穂の身体が、中年チンポで良い様に犯されて、嬉しいうれいって大喜びしてるぞッ！ ホラッ素直になれッ！！)

「あんッ・ああんッはっ・はいッ… しッ・紫穂わあッ・バックで犯されるのがッ！ヒドイ言葉でなじられるのが大好きなッ！ドMの変態女ですッ！もっとしてッ！もっとメチャクチャにしてエッ」

「ハハッ☆可愛いぞ紫穂…いやらしく肛門ヒクヒクさせて…そろそろアナルの調教もしてやろうか！？」

「ハイっ・おしりもおッ・アナルもイジってエッ！ 知ってるんだからッ……

葵ちゃんだけッ・肛門イジってあげてるのおッ！」

『葵ちゃんだけッ・ズルいッ！ 私もッ・私もお尻の穴あッ♪
コーモンいじってエッ』

「えっ！？ …紫穂ちゃん、なんで知って…？」

「ふふ…私の記憶から読み取られたみたいだね…葵くんも
覗くだけじゃなく、覗かれちゃってたんだねえw」

「ウソッ…ハアハア…いつ・いやあだあ…」



「よーし、じゃ今度はちゃんと肛門の処女奪ってやるから、今はマンコに集中しろッ！ このドスケベッ！！」

「はいッ！アナルのバージンもッ・奪ってッ！スケベな紫穂の身体中ッ・メチャクチャに犯してッ！あッ・イクッ！
紫穂のスケベなッ！ オマンコいくらうらうらッ！」

「クッ・出すぞッ！ 紫穂のくっさいマンコにッ！ 中出し嬉しいだろッ！ 出してやるぞッ……オラッ！！」

「あッ・うんッ・嬉ッ！あッ・あッ・キタッ！あッ・イクッ・あッあッ・あああああああああああッ！！！！」



「そんな……ウソやろ？ 紫穂に、ウチの秘密、知られとった……？」
「ほら、全部見終わったんだから…次は葵クンの番だよ？ いつも通り、可愛がってあげるからね…」
「え、また撮るんか？……イヤや、恥ずかしい…」
「ダメだよ、みんなの成長記録なんだから、しっかり撮影しなくちゃ。ほら、ちゃんと脱いで…」
「あ・ああ…恥ずかしい…」
「ふふ、もう何度も裸になってるのに… 葵クンはいつまでも初々しいねえ。他の2人に見習わせたい位だネw」
「そないなこと…あ、ああッ♪」
「あはは、乳首も未発達で…ベツタンコで可愛いねエ」
「あッ・あかんッ・コリコリしたら…あかんでッ・あんッ♪」
「そうかい？ 薫クンが乳首イジられるの見て…羨ましそうに荒い息してたじゃないか」
「そっ・そないなこと…あんッ♪」
「そうかい？ 紫穂クンが甘い鳴き声あげてるの聞きながら、身体を小刻みに震わせて…太ももを合せてモゾモゾしてたのは興奮したからなんだろう？ ほら…」
「あ！ アカンっ、下はッ、パンツは今脱がしたらあかんでっ！」
「おほへスゴいなこりゃw パンツからオマタまで糸引いちやってるじゃないかw」
「だからあかんで……あッダメッ・さわっちゃ……あ！ ああんッ♪」
「ん～んジツリして熱くて… おまたのミゾの中、エッチなよだれでヌルヌルじゃないかw うん？ そりゃそうか、仲間のハメ撮りこっそり覗いてコープンしちゃったんだもんねエ？」
「ちがッ・せやからコープンなんて……」
「ん？ コープンしすぎて、たまらず机の角に股間押し当ててたのはドコの誰だい？」
「なッ？ あんッ♪はあはあ…もしかして……ずっと見てたんか？あんッ♪」
「ああ、しばらく声を掛けずにね… 友達のセックス動画をオカズに机の角でオナニーなんて… とんだ変態娘だよネ？」
「ひ、ヒキョウや…隠れてこっそり見るなんて・んッ♪」
「覗き見なら他人の事言えないだろ？ ほら、可愛いワレメちゃんコスるたび、にゆるにゆるしたイヤらしいオマンコ汁が、どんどん溢れてくるぞ…」
「あッ・イヤッ・んッ・あんッ♪」
「可愛い鳴き声あげて…イヤらしい、悪いコだ…ほら、ちゃんと謝りなさい、ホッホッ…」
「えっ、ちょっハズっ、そんなこと…言われへんよおっ…」
「イヤならバツとして葵クンの動画も皆に見せようか？ その方が公平…」
「あッ、いやあッ！ …わかったあ…あんッ♪葵わあッ…勝手に友達のハメ撮り動画盗み見てえッ…興奮して机の角でお…おなにーしましたあ……はあはあ・葵はスケベなコおですらッハハア・あんッ♪すけべでごめんなさいッ！ あッ！ ああんッ♪」

「よーし、良く出来たね……じゃあいつもみたいに可愛がってあげるからね☆
ホラ机の上に乗って…」
「あッ・はッ……はい…」



「ほら葵くん、もっとお尻をクイツと突き出してッ！」

「あ・はあっ…もっと…こう…？」

「そうそう☆ちっちゃいお尻の真ん中で、葵くんの可愛らしいウンチの穴がヒクヒクしてるよw」

「あッ・ダメえっ・そんなトコじっくり見んといてえ……」

「ふふ恥ずかしい？ んじゃ葵くんの大好きなお浣腸行くよ～ ほらッ！」

「あッ・はあ～～あああああつ……」

「ホラ、どんどん浣腸液が入ってくよ…」

「あああああ・はあ～ッ…オシリの穴あッハアハア…おナカっ・つめたあいつ……」

「ふふっ、背中もゾクゾクするんだろ？ ちいちゃいカラダ震わせちゃってw」

「うんッ・ゾクゾクするッ…つめたいのっ・はいつてくるうッ… おっちゃん…

まだあ？」

「もう少しだからガンバレ頑張れっw おーどんどん入ってく………ほらっ、終わったぞッ☆」

「あああ…」

「ん？ どうしたの？ ぶるぶる震えちゃってえw」

「あっ・だってえッ・ガクガクするう…ハアハア…
お膝ッ・ガクガクしちゃうのおッ」

「ん～可愛いねえw ホラ、今日はこの上にするんだよ」

「えっ！？ だってそれ、皆本はんの写真……」

「イヤッ！ それだけはイヤやあッ！」

「どうしてだい？ 最近みんな皆本くんにお熱で、私も寂しいんだよ…

でも、キミ達を一番に可愛がって、最初に愛したのは誰か、葵くんだって知っているだろう？」

「そりゃ… おっちゃんには感謝しとるけど…」

「葵くんは、もう私の事などキライかな…」

「そんな…そないな事あらへんよ… ふふっ、大の大人がヤキモチなんて…

…何だか、かわいいなあ♪………ええよ…いうコト聞いたげるわ…

ふふっ♪」



ジュウジュウ

ジュウジュウ

ジュウジュウ

ジュウジュウ

ガル ガル

ジュウジュウ

ジュウジュウ

ジュウジュウ

ジュウジュウ

ジュウジュウ

「よお～し、葵クンの可愛い排泄シーン、もっと近くで録画しようね♪」
「あー、近いって！ あかんよっ・そんなん恥ずかしいって！」
「大丈夫、他のみんなには絶対見せないから！ 私にだけは…葵クンの可愛い所も恥ずかしい所も…全部見せて。葵クンの事、一生大事にするから…ね☆」
「あっ……うん♪」
「ホラ、大好きな洗濯バサミでもイジめてあげるから…」
「あっ、アカンツ！ いまソレしたらツ刺激強すぎてツ…」
「じゃまずは乳首からっと！」
「あッ！ ああんツ♪」
「ほ～ら、次はクリちゃんの皮しっかりムイてっと…」
「あ、そっちはホントにあかんでっ…あッ・ひッ！ あッ♪ ああんツ♪」
「おっきな声上げてっw イヤがってたクセに大興奮じゃないかw」
「あかん・ああコレっ♪ コレすごいッ！ オナカぐるぐるしてっ・あひっ♪ チックビすごいッ♪ クリがスツゴおイのおおツ♪♪」
「まだダメだぞッ、ガマンしてッ！ いつもみたいに、ず～っとガマンした方が、いっぱいキモチ良くなれるんだから、ね☆」
「ああッ♪ でもスゴッッ♪ いつもよりスゴいいいッ♪ こんなんで出したらあッ・あつたまあッ・おかしくなるううッ♪♪」
「ふふふwトロ～ンとして、いつもより、ずっと良いカオ撮れてるぞッw」
「あッあッ♪ あっかんでッ♪ コレすごいのおおツ♪」
「へえ… ドコがすごいのか？ 乳首？ クリトリス？ それともウンコの穴の中？」

「ああっ・わっかんないいッ♪
チクビもマンコも肛門もおツ♪
全部ゾクゾクしてッ・わっかんないいッ♪♪」



ブルブル

ビーン

ヒール
キー

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブル

ブル

「コラコラ、自分だけ気持ち良くなっちゃダメだろ？ いつもみたいに私のも気持ち良くしてごらん？ ほら啜えて、アーン☆」
「はッ、はいっ…あ～ん…んぐッ！ くッ・くっさぁいいッ！」
「うむ、今日は特別に洗わないでおいてあげたからねえ…しかも小便汚れに加えてさっきから私もカウパー出っ放しだったからね…どうだい？ 中年の汚れチンポの味はw」
「モゴモゴ…んぱッ・くっさぁいいッ…こんなんイヤあッ」
「イヤじゃないだろ？ ほら、いつも通り一所懸命しゃぶりなさい」
「ウソッムゴッ…こんなくっさぁいいッ…ハアハアこんな臭いのツッムゴッ…はあ～っ♪ あんッ♪」
「何だ？ 逆にいつもより興奮してるじゃないかw 普段より良い吸い付き方してるぞッ」
「チュッポッジュッポッ… ああんっ♪ そんなんうそやあッ♪」
「ふふ… 可愛くてちっちゃなお口が、中年の汚れたチンポで犯されて…とんでもなくイヤらしい姿だねえw ほらちゃんとカメラ見てッ！」
「んフッ！ はっ…はぁいいッ♪」
「おおっ？ ケツ振っちゃって… どうした？ お口も胸も、マンコもケツもッ全身キモチ良くてガマンできんのか？」
「チュッポッジュッポッ・ンッ！ あんッ・おナカッ・ぐるぐるするうッ！ ダメッ！ 出ちゃううッ！」
「プスッ・ブプッ…… ちゅッ・ショッ・ちよろッ・しよおおお～ッ」
「ん？ なんだい今の？ オナラと一緒にオシッコ出ちゃった？」
「あッイヤッダメッ・見たらあかんッ… あッ！ ああんッ！」

ブリッ！ プッス～ウツ…… ブツッ！！
ムリムリイッ☆

「ははッw 何だ！ オナラだけじゃなくてウンコもちよっぴり出ちゃったのかw ……ん～、クサッ！」
「イヤァ・ハズかしッ・嗅いだらアカンてえッ！」
「あ～くっせエ！ ほら出せッ！ くっさぁいの全部出しちまえホラッ！！」
「イヤッ！ アカンッ！ 出るッ！ 出るでるウでちゃううッ！ ああッ！！」



ブルブル

プ

プ

プ

プ

プ

プ

ブルブル

プ

プ

プ

プ

プ

プ

「アツ・はあツ・ゾクゾクするうツ♪ ずっと貯めてたのおツ・我慢してたの
出ちゃうツ♪ おなかぐるぐるしてツ・ぶっといの出ちゃうツ♪」

「良いぞツ、出せツ！ ションベン漏らしてツ、ブツといウンコひり出しな
がら、肛門震わせてイッチまえオラツ！！」

「いやんっ♪ …ムゴッ…イッチちゃうツ♪ …ツブッ…オシッコでちゃうっ♪
ウンチでイッチちゃうツ♪ ウンコ出しながらイッチやうのおおおおツ♪」

「オオツ・チンポの吸い付きすっごいぞツ！ イクツ！ カワイイお口に
汚チンポ汁全部出すぞツオラツ！！」

「あひツ♪ ダメエッ♪ ウンコでイクッ♪ ウンコでイクうっ♪」
ブスッ！ ブツ！ ブリブリブリッ！

「ウンコでイクいくツ！

あ————ツ！！」

ショツ！ ジョロツ！ ジョオオオオオ————ツ！！

ムリッ！ ブツ！ ブリブリブリブリー————ツ！！

「オーツくっせえツw オラツ！ こっちもクツサイザーメン出るぞツ！
オラツ！！」

「ムグッ・オツブッ・ウゴッ・ムゴッ… びゅッ！ ドピュッ！ ドピュピュッ！！

…ソゴッモゴッ… うえツ！ おええええええええっ！」

「おーら吐くなよ出すなよツ！ 全部飲めツ！ ウンコの代わりにハラん中、
クサイザーメンでイツパイにしろツ！」

「オウツ！ オエえツ！ ングッ… ゴクッ… ゴクゴクッ… ンパツ！」

「おーし、良しツ！ そーだ可愛いぞツ☆ ほーら尿道の残りザーメンも
しっかり吸ってツ！」

「ツブッ… はあい♪ ちゅうう～っ…」

「どうだ？ 自分のウンコのニオイは？」

「葵のウンコお… すっごいくっさいい…チュチュツ・ちゅう～ツ」

ふふうッ！ すう～————っ

「んー？ 最後っ屁が出て、オナカの中すっかり出切ったみたいだねえw」

「はっ、恥ずかしっ……」

「よく頑張ったねえw イッタ余韻で身体中ビクビクさせて…」

「イヤあ… ウンコで… ウンコ出して… イツ… ちやっ… たあ♪」



ツツツツツ

ドドド

ヒッヒッ

ヒッヒッ

ヒッヒッヒッ

ヒッヒッ

ヒッ

ヒッ

アッアッ

ヒッヒッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

「ほらご褒美だ、葵クンの大好きな、アナルセックスしてあげるからね…」

「あッ… ああッ…」

「んー、ブッといウンコひり出した直後だから良くほぐれてるねえ…よいしょっど」

「ああッ！ はあああ————ツ♪」

「ほーら、チンポすんなり入ってくぞ☆ おーえらいえらい、ちっちゃな身体なのに極太チンポ、根元まで飲み込んで…」

「あッあッ・おっちゃんダメッ！ いまイッたばかりだからっおしりのなかつ敏感すぎるからあッ…

ああんツ♪ ダメツ♪ あたまツ♪ おかしくなっちゃうからあツ♪」

「大丈夫、ゆっく〜り抜き差ししてあげるからね…なに？ キモチ良くないの？」

「ちがうッ・キモチ良すぎてえッ♪ あかんツ♪ ダメッ！！」

「おお〜にゆるにゆるしてッ・葵クンの肛門はホントに気持ちいいなア☆」

「あかんツ・あひっ♪ キモチ良い・ぐっ・こんなん…お尻の穴でえッ♪ オカシイやろお♪ こんなんじゃ

ウチい… あんツ♪ ヘンタイになってまうからあツ♪ …ああッ！！」

「ふふ…可愛い鳴き声だなあw 葵クンのこの映像、みんなに見てもらおうかねエ？」

「ああッ・それだけはあかんよおッ！ あんツ♪ それだけは堪忍してえ あッ♪ おねがぁいッ！ ああんツ♪」

「わかったから、顔こっち向けて…ははッ可憐な肛門バククリ拡がっちゃって…オチンポ啜えてこんなにヨがっちゃって…3人の中じゃ、葵クンが一番可愛いよ♪」

「うそッ… そんなんウソやあ… ウチだけ普通にせんと…おし・お尻の穴ばかりイジめてえッ…あんツ♪
ウチのことッ・こんなヘンタイにしてえッ…アあんツ♪」

「それは特別だから、一番大事だからだよ… だから葵クンの処女膜は大切にしたいんだ…3人の中で葵クンはまだ処女のまま…そうだろ？」

「あん♪ あんツ♪ ホンマにッ？ あッはんツ♪」

「そうさ…だからホラ、葵クンの大切な処女膜、開いて見せてごらん？」

「あッ…あはッw こう？ 恥ずかしッ…あんツ♪」

「そうそう、本当に可愛いねエ… 一生可愛がってやるぞオラッ！」

「あんツ♪ すごッ♪ ホンマにッ♪ 一生かわいがってなあ♪」

「くッ！ (ケツ穴調教されてッ！ 良い様に弄ばれてるクセにッ！)カワイいなあ葵ッ！ コノおッ！！」

「あッ！ イヤやおっちゃんッ！ きゅうにッ♪ 早いッ♪ そない激しくしたらあッあんツ♪ あかんツ・
穴の中にすれてっ♪ ウチおかしくなっまうってッ♪」

「葵がカワイイからいけないんだッ！ このッ！ このおッ！！」

「あんツ♪ ホンマにッ？ ウチッ♪ うれしいッ♪ あッ♪ でももうイクッ♪ イッてまうからあッ♪」

「うッ、こっちもイクぞッ！ 葵のスケベな肛門ッ！くっさい尻穴使ってッ！ イクぞオラッ！」

「うっ・ウチもお♪ スケベなコーモンほじられてえ♪ イクッ♪ またウンチの穴でイッちやうらッ♪」

「よし逝けッ！ 処女マンコおっ広げながらッ、ウンコの穴お犯されてイッちまえ！ ケツ穴大好きなんだろ
オラッ！！」

「ウンッ♪ イクッ♪ 肛門でイクッ♪ コレ好きッ♪ コーモンだいすきッ♪

大好きなケツ穴で逝かされるッ♪ くっさいアナルでイかせてえッ♪

イクッ♪ イッちやうらッ♪ イクイクイクイクッ！ あッ♪ ああッ♪

ああああああああああああああんツ♪♪」



アッ、アッ、アッ

アッ、アッ、アッ

アッ、アッ、アッ

アッ

アッ

アッ

アッ、アッ、アッ

アッ、アッ、アッ

アッ、アッ、アッ

アッ、アッ、アッ

アッ、アッ、アッ

「んっこっちも出るッ！ くっさいチンポ汁ッ顔に出すぞッ」
「んっ・ええよお顔射して…くっさいオチンポの汁でッ、葵の顔ッ、お口犯してえ♪」
「うッ、出るッ！ クっさいザーメン出るぞオラッ！！」
「あ〜〜ん…うッ！ あっ！ あああッ！ …ああん♪ ホンマくっさいッ♪ ハハハ…
臭いの、たっぷり出たなあ…」
「葵のケツ穴が、気持ち良過ぎるからだぞッ」
「ハハハ…ほんまにい？ あんッ♪ うれしッ♪」
「ふふw 葵ケツの具合ほめられて嬉しいか… 葵も大好きな肛門でイかせてもらえて幸せだろ？」

「…うん♪ ウちっ♪ しあわせえっ♪♪」





紫穂:

普段は気取った態度、清楚で知的なブライドの殻も、能力を逆手に取った淫褻調教で崩壊。バックや言葉責め(恥部である性器の悪臭をなじる等)を好むM気全開の彼女。今後はアナル開発や野外露出等で、真性のマゾ奴隷に飼育。

薫:

乳首イジリが大のお気に入り。スケベな好奇心は人一倍で、性行為自体には抵抗無し。自ら食欲に腰を振る程の性欲の強さを見せる。今後うまく育てれば、他のチルドレンとの複数プレイ導入にも、貴め手、協力者として利用できそう。



葵:

一番真面目で性知識も薄く、調教の遅れが懸念されていたが、排泄行為からの肛門姦を性快楽として刷り込む事で、自身を変質性欲者と思い込ませる事に成功。今後は他者に排泄を披露させ、モラル崩壊からの複数プレイ許容に、いよいよ移行する予定。

『ふう〜 記録整理もやっと一息か…
しかし3人も順調に成長してくれて、
ひと安心だヨ。
なにせ彼女らは
国の宝だからねエ☆』

サイコメトラー のオナニー♡

今日はサイコメトラー
紫穂ちゃんのオナニーを
覗いてみよう♪



紫穂当てに毎日届く
大量のラブレター…その中身は
紫穂ファンクラブのザーメンが
詰まったコンドームなのだッ



いつもは大人びた
紫穂ちゃんが自分の体液や
コンドームから漏れたザーメンで
汚れた汚パンツをはいて
コンドームまみれになりながら
オナニーしちゃいます



サイコメトラーとは
触れた物や人物の情報を
読み取る能力です。

紫穂ちゃんはどうやら
ザーメンの持ち主の
オナネタを覗き見するのが
ズリネタのよう…

アンツこれッ
私がベツトになって…
ワンちゃんとセックスしてるう
なんて下品な妄想なの♡

ん〜すごいッ！
すごいよジョウシユ〜！
オマンコ気持ちいいよッ！

お願いしますッ
メス豚紫穂に濃厚で
くっさ〜いザーメンを
ブっかけて下さいッ♥

もっともっと汚してッ
紫穂は皆様の
ザーメン便器ですッ

駄目ッそれ以上は
入らないッ!!

コレなんて
すごいわ♥

ヒイイツ!! 紫穂の
オマンコ壊れちゃうッ
ああああッ

ンフッコレは
ハードね♥

ふふッコレは
キてるね♥

ああ…紫穂
まだ幼いののに
こんなに肉体改造
されちゃうの…

豚ですッ♥メス豚ですッ♥
ご主人様…もっともっと…
紫穂を改造して下さい♥

今日はものすごいのばかり♥
ふふッ…あなたも紫穂を
メチャクチャにした妄想を
コンドームに詰めて送って下さい♥



☆カクガリ兄☆

2006年も半分以上が過ぎて、暑っつい夏が今年もやってきましたねえ…
んで、ここ何年か思うのが「オレ、今年もまた水につかってねーやw」
海とかプール好きなんですけどね。

で今回の「東京PRACTICE」ですが、こんな感じの本になりました。

作り手・送り手として思う所は色々あるんですが、まあ出来上がった以上は手を離れた物ですから、後は『座して待つ』のみ、という事で☆

今回、作業中『ボニョ』の主題歌が脳内を回る事まわる事… スゴい耳に残りますねあのサビ。ボーカルの子供の、棒読みの様な歌い方がまた何とも洗脳チック。

んでは、またの機会に…
(ぼーによぼーによぼによさかなのこ〜♪)

☆カクガリ弟☆

さて、毎度の苦勞話ですが、今回、この「絶対可憐チルドレン」を製作にあたりまして、作画的に頭身で苦勞しましたね〜。
この年頃の、頭身・ボディバランスって非常に描きづらいものがありますね。
しかも、原作・アニメ絵共に頭身が低い…。無論ロリーも守備範囲なあっしはどんなに頭身低くたってストライクなのだが…
まあ、微妙な年頃を身体的にも表現できたらとも思いつつも設定画と向き合い、悶絶していましたよw

お楽しみ頂けたなら、うれしゅう御座います。

☆Staff☆
カクガリ兄
カクガリ弟
(合わせて カクガリ兄弟)

☆Presented by☆
肉りんご(Beef&Apple)

☆Title☆
東京PRACTICE

☆同人誌印刷☆
PICO様
(いつも大変お世話になっております)

☆奥付☆
(ご意見ご感想・要望・お仕事などは下記をお願いします)

☆ホームページアドレス(ブログ)☆
<http://kgbros.blog37.fc2.com/>

☆メールアドレス☆
kgbrosbros@yahoo.co.jp

☆注意☆
本誌に記載する全ての図版・文章を、許可なく複製・転載・ネットで公開及びアップロードする事を禁じます



TOKYO PRACTICE

For ADULT only

Presented by
NikuRingo(Beef&Apple)

2008/08/17 In
Summer of Comiket